



◆ Urban Innovation KOBE
レセプトチェックの自動化実証実験
成果報告書

株式会社 モンスター・ラボ

2018 / 12 / 04

サマリ

背景

- ✓ 実験の目的は、膨大な手作業が発生している請求書のエラー確認業務において、それらの作業を可視化し、自動化プログラムを適用することによる効率化の効果を検証すること
- ✓ 業務は、①エラーチェック及び②必要な付箋の作成（エラーがあった場合）
- ✓ その中で、目視でのエラーチェック及び手作業での付箋作成に多くの時間を費やしている

実施内容

- ✓ 多くの時間を費やしている課題に対して、業務フローの詳細整理から着手し、最終的には自動化プログラムを実装して、効率化の効果を測定
- ✓ 現行のシステム環境では自動化が難しいエラー、また、発生件数が僅少なエラーを除き、全体の半数以上を自動化対象範囲とした

結果

- ✓ PC上の操作や、紙・PC画面の目視といった業務を自動化
- ✓ 現時点で、対象範囲の93%の時間削減に相当する38時間/月の効率化を達成

今後

- ✓ 今後は、別のエラー区分への適用や、国民年金医療課の他の業務への適用を検討中

1. 実証実験の背景
2. 実施内容
3. 実施結果
4. 今後の取り組み
5. Appendix
 - I. Urban Innovation KOBEのプログラム概要
 - II. (株)モンスター・ラボの会社概要
 - III. (株)モンスター・ラボが開発するRPAの製品概要

課題及び目的

膨大な手作業が発生している請求書のエラー確認業務において、作業を可視化し、自動化プログラムを適用することによる効率化の効果を検証

レセプト
チェック業務
における課題

- ✓ 毎月約20万~30万件もの、医療費助成に関する医療機関からの請求書 (=レセプト) を処理している
- ✓ その中には、本来は助成を受けられない請求 (=エラー) が含まれ、そのチェックのために、国保年金医療課では、相当な人員をかけてマニュアルでの確認作業を行っている
 - 確認作業は福祉医療システムとレセプトを参照しながら行われ、作業に多大な時間が掛かっている
 - エラーパターンによって参照すべき項目が様々であり、人によって作業のムラや無駄が生じている

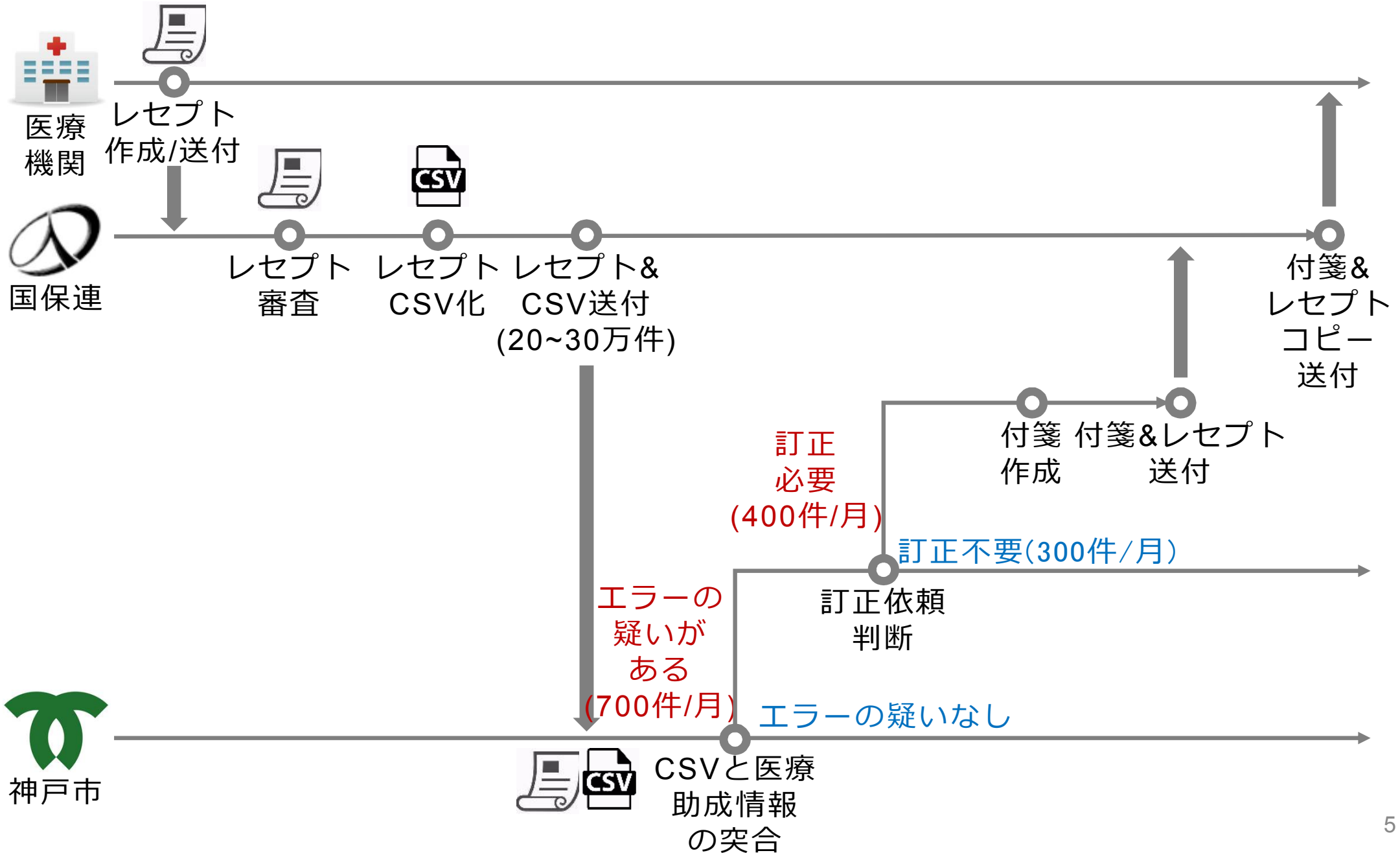


プロジェクト
の目的

- ✓ 職員の作業内容の分析を行うことで確認作業を見える化し、さらに、その作業を自動化で行うプログラムへ落とし込む仕組みを構築し、効果を検証すること

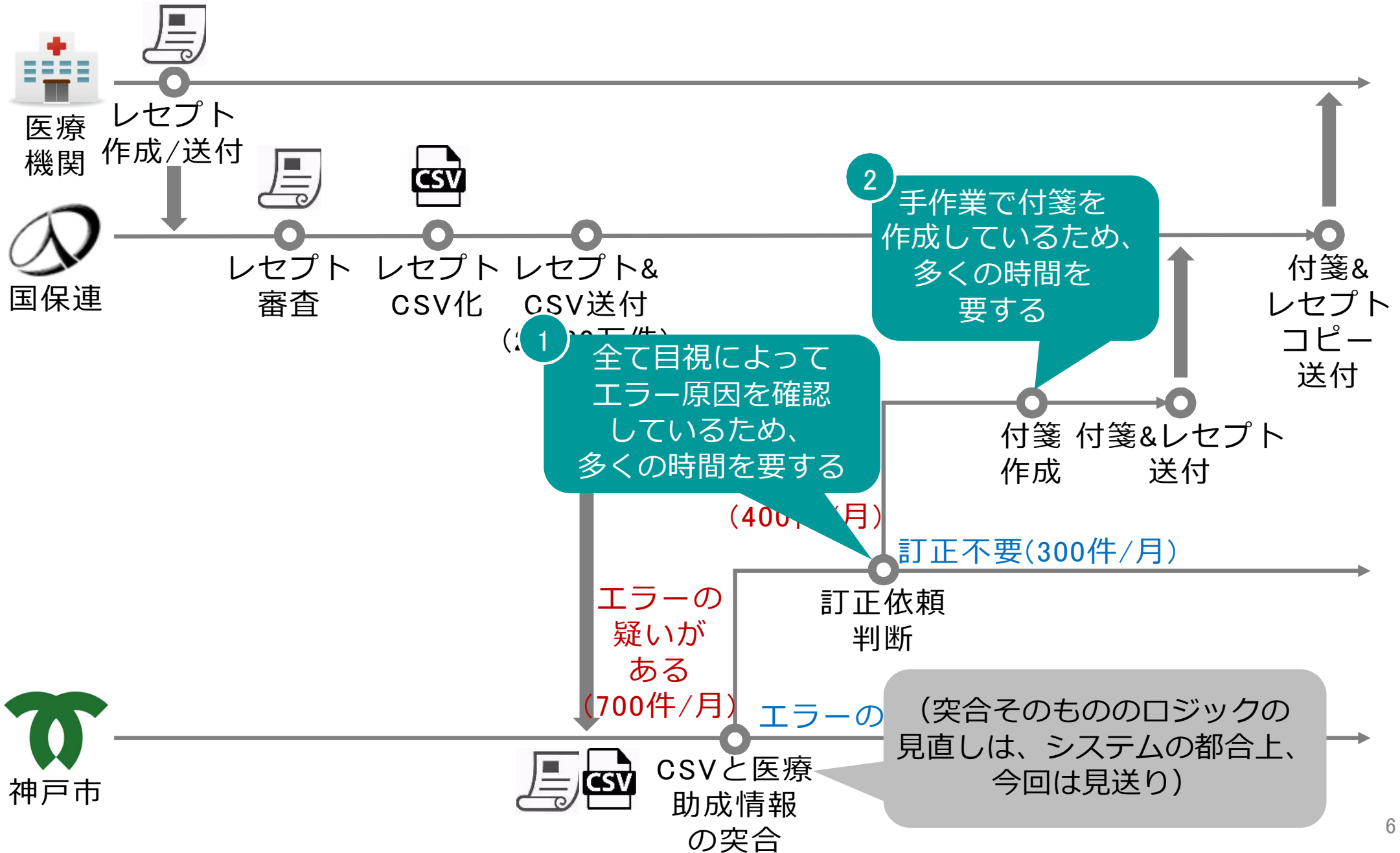
レセプトチェック業務の流れ

市では、エラーチェック及びエラーがあった場合に必要な付箋作成を実施



レセプトチェック業務における課題

目視でのエラーチェック及び手作業での付箋作成に多くの時間を費やしている



1. 実証実験の背景

2. 実施内容

3. 実施結果

4. 今後の取り組み

5. Appendix

I. Urban Innovation KOBEのプログラム概要

II. (株)モンスター・ラボの会社概要

III. (株)モンスター・ラボが開発するRPAの製品概要

課題に対する打ち手

多くの時間を費やしている課題に対して、業務フローの詳細整理から着手し、最終的には自動化プログラムを実装して、効率化の効果を測定

業務フローの
詳細整理

1. 実務担当者への詳細ヒアリング
2. 業務視察

自動化対象業務
の特定と自動化
の方法の検討

1. 業務量の分析
2. 改善効果大きい業務の特定
3. 業務の自動化方法の検討

自動化ロジック
/プログラムの
実装

1. RPAによる自動化
2. 表計算ソフト, AIによるチェックプログラムの構築

効果測定

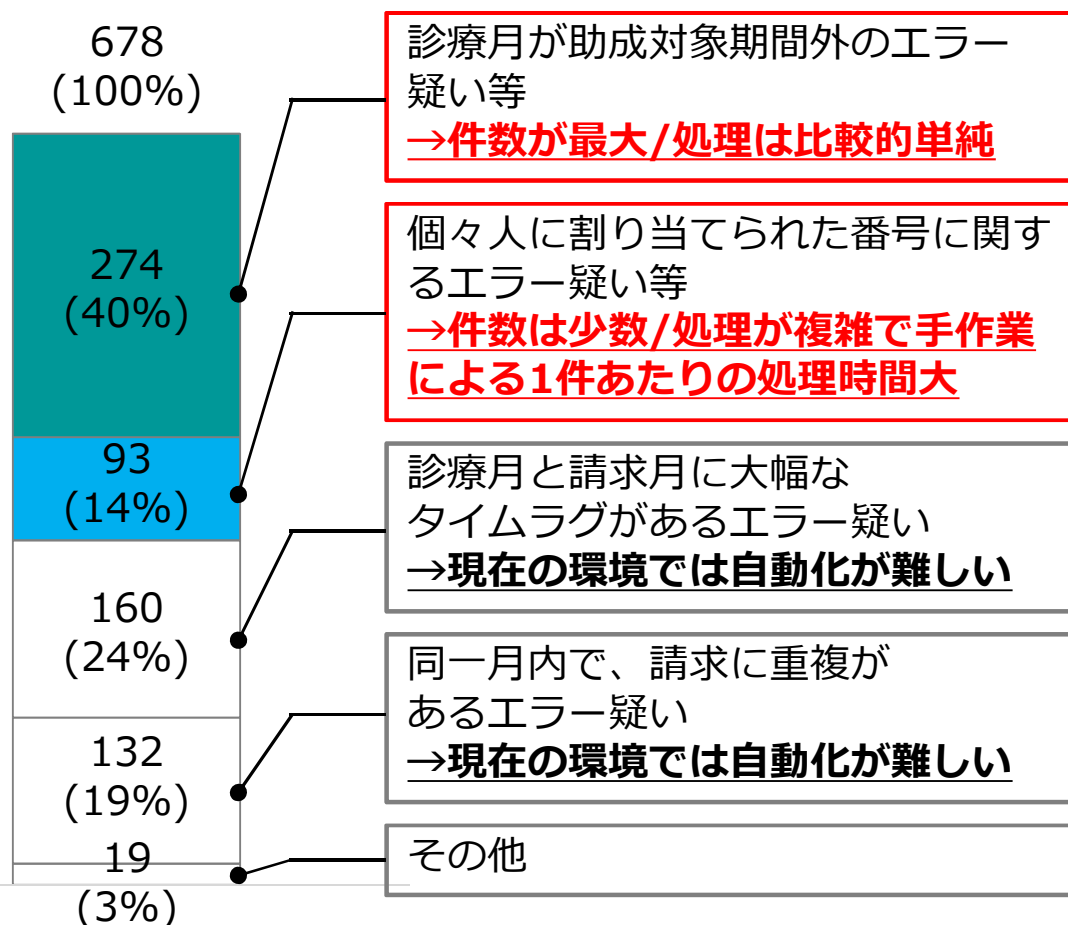
1. 改善効果の測定

自動化対象範囲

現行のシステム環境では自動化が難しいエラー、また、件数が僅少なエラーを除き、全体の半数以上を自動化対象範囲とした

エラー疑いの区分別 発生件数¹⁾

単位：件



自動化の方法

- 単純な処理及び自動化システムの全体管理/制御には、弊社RPAを適用
- 複雑な判断が必要な処理に対しては、AIロジックを適用 (FlyData社)
- 適用範囲外

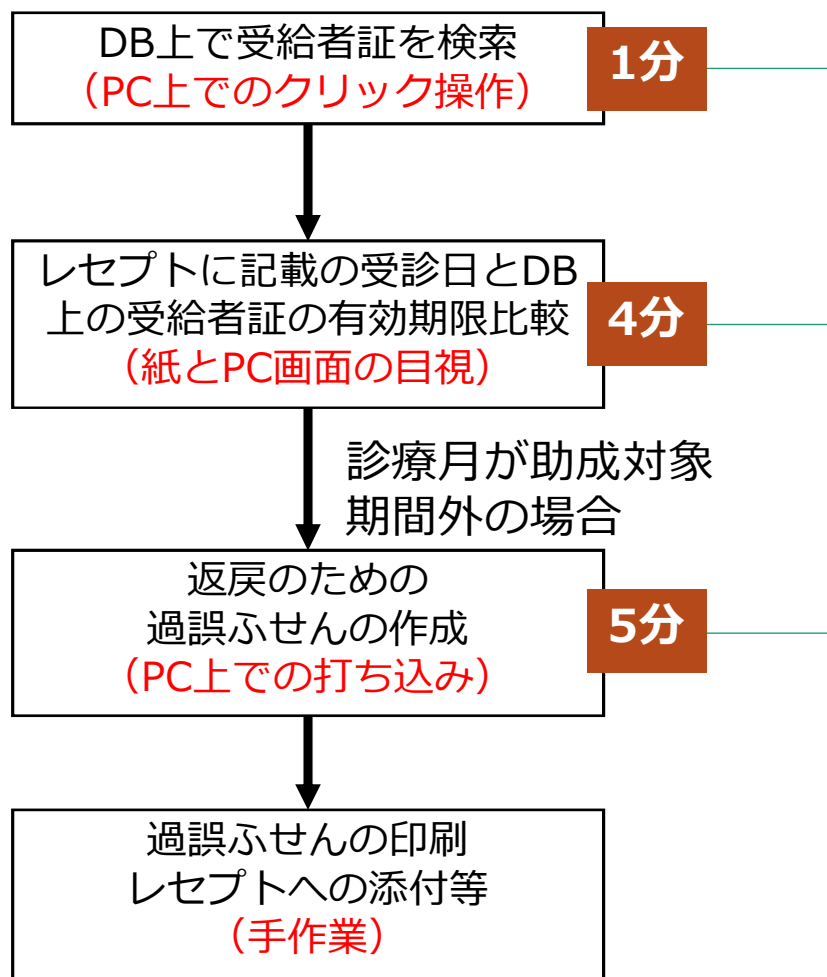
1) 2017年10月~2018年9月請求分の一月当たりの平均値

1. 実証実験の背景
2. 実施内容
3. 実施結果
4. 今後の取り組み
5. Appendix
 - I. Urban Innovation KOBEのプログラム概要
 - II. (株)モンスター・ラボの会社概要
 - III. (株)モンスター・ラボが開発するRPAの製品概要

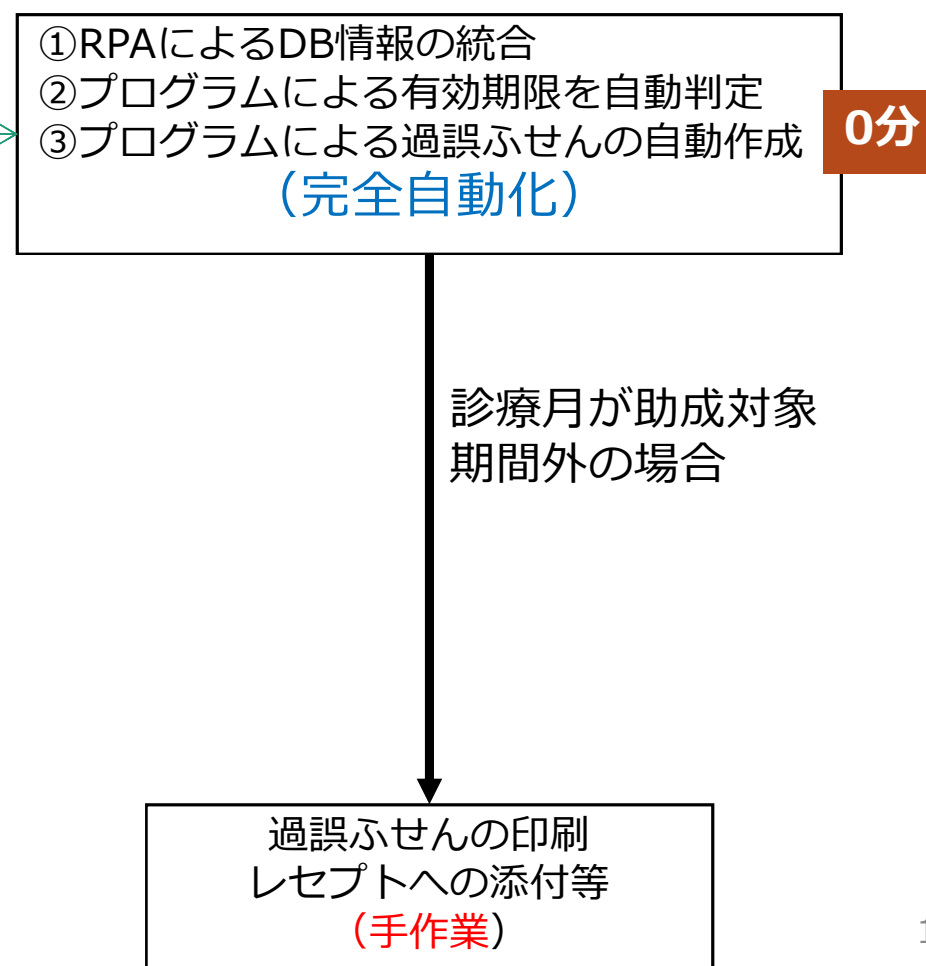
診療月が助成対象期間外の場合のチェックフロー変化

PC上の操作や、紙・PC画面の目視といった業務を自動化

従前



自動化後



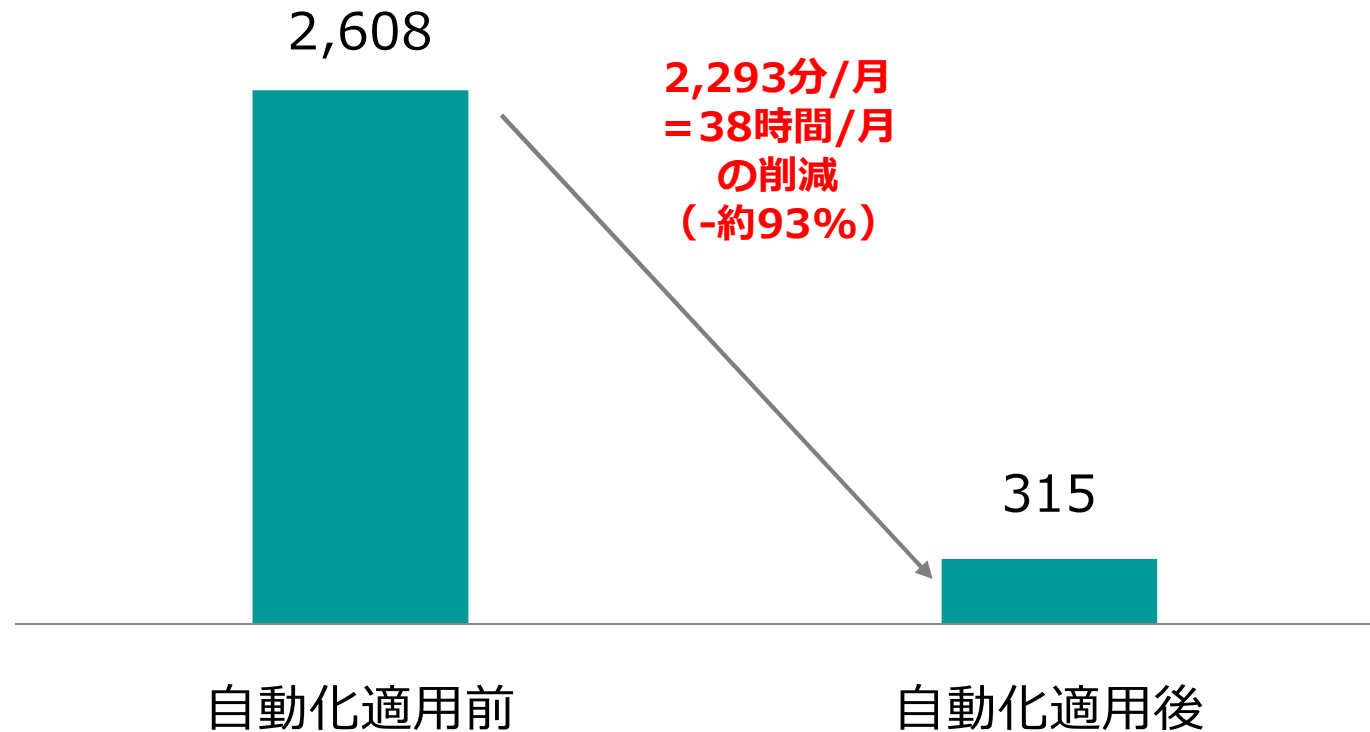
実施結果

現時点で、対象範囲の93%の時間削減に相当する38時間/月の効率化を達成

弊社担当エラー疑いにおける自動化適用前後のチェック時間の比較

単位：分/月

※2018年11月時点の試算



1. 実証実験の背景
2. 実施内容
3. 実施結果
4. 今後の取り組み
5. Appendix
 - I. Urban Innovation KOBEのプログラム概要
 - II. (株)モンスター・ラボの会社概要
 - III. (株)モンスター・ラボが開発するRPAの製品概要

今後の取り組み

今後は、別のエラー区分への適用や、国民年金医療課の他の業務への適用を検討中

レセプト
チェック業務
における
さらなる
自動化
対象候補

- ✓ FlyData社が適用を進めるAIロジックによる処理部分を含む、自動化システムの全体管理/制御
- ✓ 今回適用範囲とした部分以外エラー区分
- ✓ エラー削減のための取り組み強化（統計処理等）

その他の業務
における
自動化
対象候補

- ✓ 医療費助成事業に関する各種統計データの処理

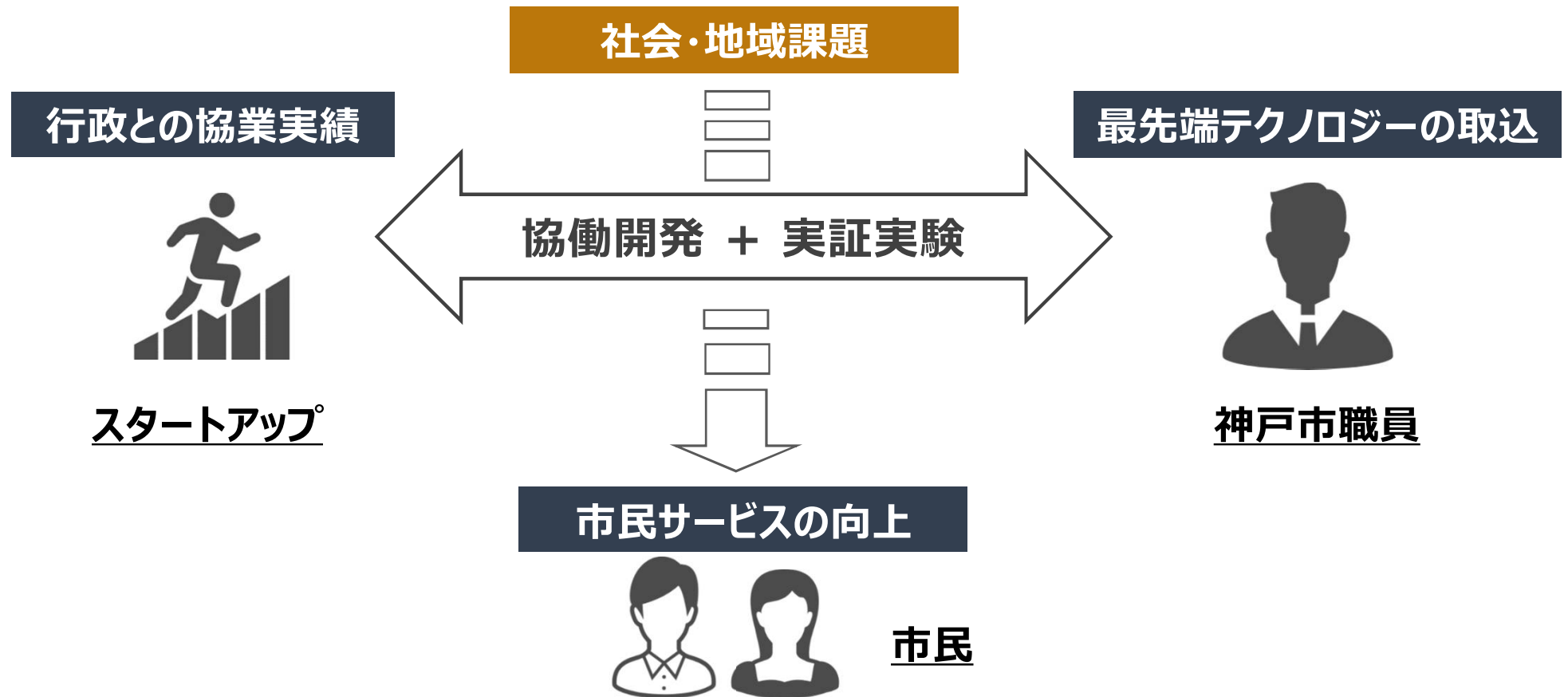
1. 実証実験の背景
2. 実施内容
3. 実施結果
4. 今後の取り組み

5. Appendix

- I. Urban Innovation KOBEのプログラム概要
- II. (株)モンスター・ラボの会社概要
- III. (株)モンスター・ラボが開発するRPAの製品概要

Urban Innovation KOBEのプログラム概要

柔軟な発想や優れた技術力を持つ**スタートアップ**と
社会・地域課題を詳しく知る**市職員**が協働して
最適な解決手法を見出し、サービスの構築・実証を目指す



(株)モンスター・ラボの会社概要

会社名

株式会社モンスター・ラボ

設立

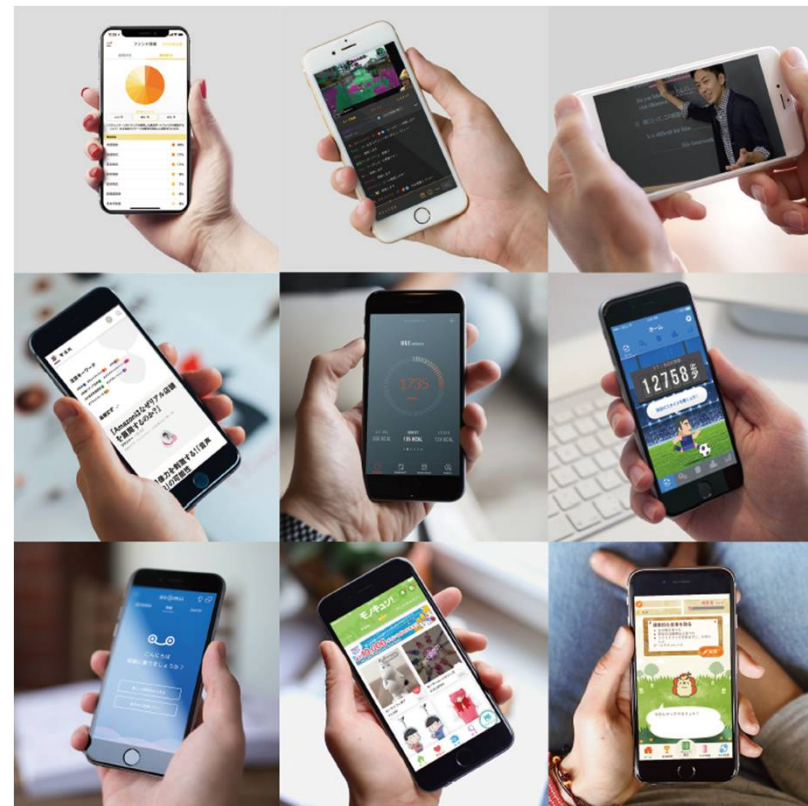
2006年2月3日

事業
内容

- ✓ デジタル・パートナー事業
(アプリ/Webサービスの
企画/開発/運用)
- ✓ ゲーム事業
- ✓ 音楽事業
- ✓ RPA等の自社プロダクト事業

企業
理念

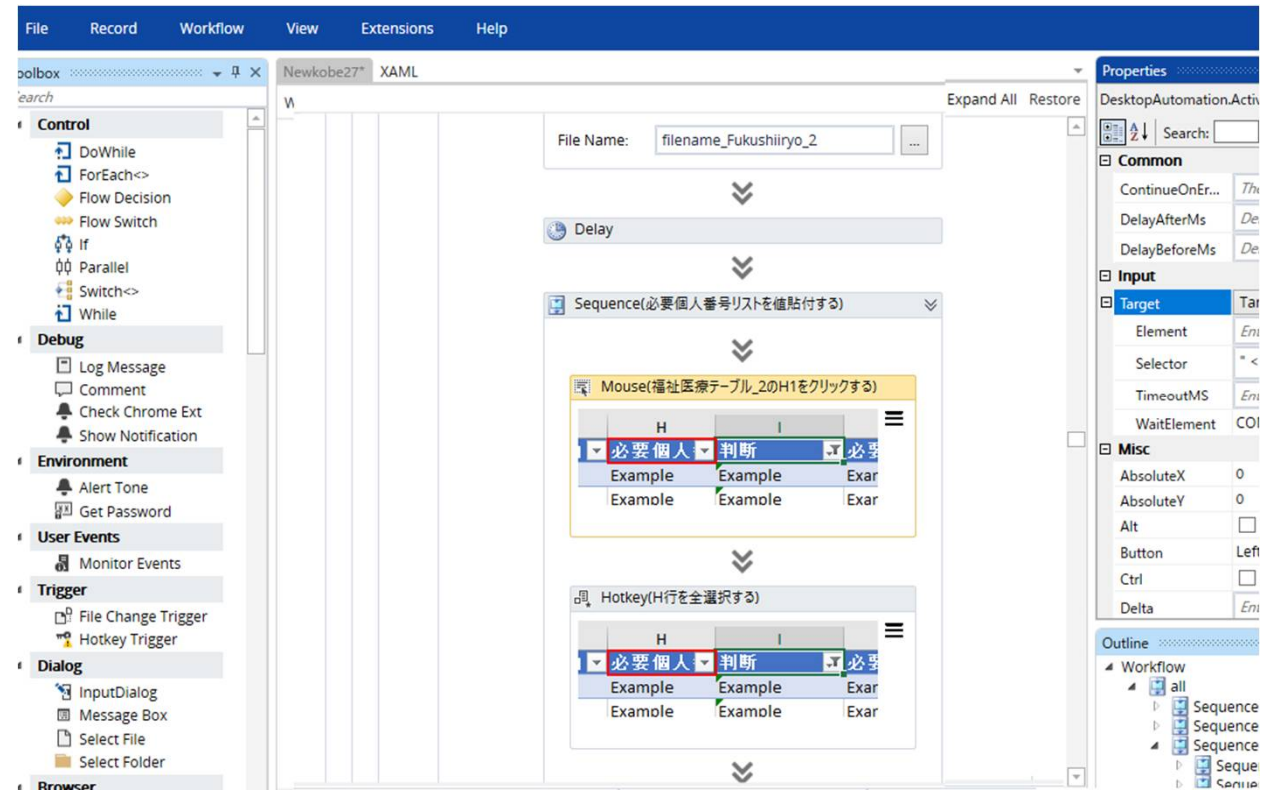
- ✓ テクノロジーで世界を変える
- ✓ 多様性を活かす仕組みを創る



AND MORE...

(株)モンスター・ラボが開発するRPAの製品概要

- ✓ 簡単な操作によってソフトウェア型のロボットに指示を与え、人が行うパソコン上のマウスやキーボードの動作を自動化することができます。
- ✓ 個人でも利用いただけけるように、ご利用いただきやすい価格帯で提供するとともに、専門のコンサルタントが導入までの業務分析などのサポートまで包括的に支援しています。



END